

令和2年度行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	DNA型鑑定の実施			担当部局庁	刑事局	作成責任者				
事業開始年度	平成4年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	犯罪鑑識官	犯罪鑑識官 遠藤 雅人				
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	警察法第37条第1項第4号 警察法施行令第2条第4号			関係する 計画、通知等	-					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	科学技術の発達や情報化社会の発展等に伴う犯罪の高度化・複雑化、一連の司法制度改革による捜査を取り巻く環境の変化等により、従来にも増して客観性の高い科学的証拠の収集・確保が重要となっているところ、極めて高い精度で個人を識別できるDNA型鑑定は、被疑者を特定し、犯行を立証する有力な客観証拠となるものであり、犯罪捜査において不可欠な捜査手法となっていることから、その積極的な活用を図る。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国的に一定水準のDNA型鑑定基盤を確保するため、DNA型鑑定に必要な資機材等を整備し、更なる強化を図る。									
実施方法	直接実施									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求			
		補正予算	2,450	2,387	2,422	3,314	2,983			
		前年度から繰越し	884	848	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	896	848	-	-			
		予備費等	▲ 896	▲ 848	-	-	-			
		計	97	194	-	-	-			
	執行額	2,535	3,477	3,270	3,314	2,983				
	執行率 (%)	2,535	3,477	3,243	-	-				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	100%	100%	99%	-	-				
		76%	107%	134%	-	-				
令和2・3年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由						
	物品購入等	3,314	2,983	資機材更新経費の減						
	計	3,314	2,983							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	-									
定量的な成果目標 の設定が困難な場合	定量的な目標 が設定できない 理由及び定 性的な成果目 標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と平成29～令和元年度の達成状況・実績					
		犯行を立証する有力な客観性の高い科学的根拠の収集・確保を目的とした事業であるため、定量的な目標の設定は困難。			(成果目標)DNA型鑑定の活用による科学捜査の推進 (達成状況)各都道府県警察においてDNA型鑑定資料の積極的な採取、適正なDNA型鑑定の実施等により、科学捜査の推進に寄与している。					
事業の妥当性 を検証するた めの代替的な 達成目標及び 実績	代替目標	代替指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	DNA型データベース活用の推進	DNA型データベースの活用事件数(暦年) ※ 警察庁刑事局犯罪鑑識官調べ	実績	件	6,293	6,016	5,150	-	-	
			目標値	件	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-		

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込
	DNA型鑑定試料数(暦年による実績値) ※ 警察庁刑事局犯罪鑑識官調べ	活動実績	試料	233,214	222,859	201,939	-	-
	当初見込み	試料	-	-	-	-	-	

単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	
	DNA型鑑定消耗品の執行額/DNA型鑑定試料数	単位当たりコスト	円	10,398	11,034	11,355	-	
計算式		執行額(百万円)/試料数	2,425/233,214	2,459/222,859	2,293/201,939	-		

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	2 犯罪捜査の的確な推進							
	施策	1 重要犯罪・重要窃盗犯の検挙向上							
	測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 2 年度
		各重要犯罪(注1)の検挙率(注2) (注1) 殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつ (注2) 右記の数値は、未遂罪及び予備罪を含む。	実績値	%	82	83.3	86	-	-
			目標値	%	69.6	73.2	77	-	80.2
		定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 2 年度
	重要窃盗犯(注1)の検挙率(注2) (注1) 侵入窃盗、自動車盗、ひったくり及びすり (注2) 右記の数値は、未遂罪及び予備罪を含む。	実績値	%	56	62.5	60	-	-	
		目標値	%	51.4	52.9	55.5	-	57.4	

本事業の成果と上位施策・測定指標との関係

極めて高い精度で個人を識別できるDNA型鑑定は、被疑者を特定し、犯行を立証する有力な客観証拠となるものであり、DNA型鑑定試料の積極的な採取、適正なDNA型鑑定の実施により、的確な犯罪捜査を一層促進することができる。

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	2 犯罪捜査の的確な推進							
	施策	4 捜査への科学技術の活用							
	測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 2 年度
		遺留DNA型記録一致件数(注)の前年度比増減率 (注) 遺留DNA型記録(犯人が犯罪現場等に遺留したと認められる資料のDNA型の記録)がデータベースに登録された被疑者DNA型記録(被疑者から採取したDNA型記録)と一致した件数	実績値	%	21.2	2.9	▲19	-	-
			目標値	%	▲9.6	▲8.7	▲9.7	-	▲8.2
		定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 2 年度
		被疑者DNA型記録一致件数(注)の前年度比増減率 (注) 被疑者DNA型記録が、データベースに登録された遺留DNA型記録と一致した件数	実績値	%	▲8.2	▲12.3	▲6.4	-	-
			目標値	%	▲9.6	▲8.7	▲9.7	-	▲8.2
	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 2 年度	
	刑法犯認知件数の前年度比増減率 (上記2点の比較対象参考指標)	実績値	%	▲8.7	▲9.7	▲8.2	-	-	
目標値		%	-	-	-	-	-		

本事業の成果と上位施策・測定指標との関係

極めて高い精度で個人を識別できるDNA型鑑定は、被疑者を特定し、犯行を立証する有力な客観証拠となるものであり、DNA型鑑定資料の積極的な採取、適正なDNA型鑑定の実施により、的確な犯罪捜査を一層促進することができる。

新経済・財政再生計画改革工程表 2019	取組事項	分野:	-	-					
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-

本事業の成果と取組事項・KPIとの関係

事業所管部局による点検・改善

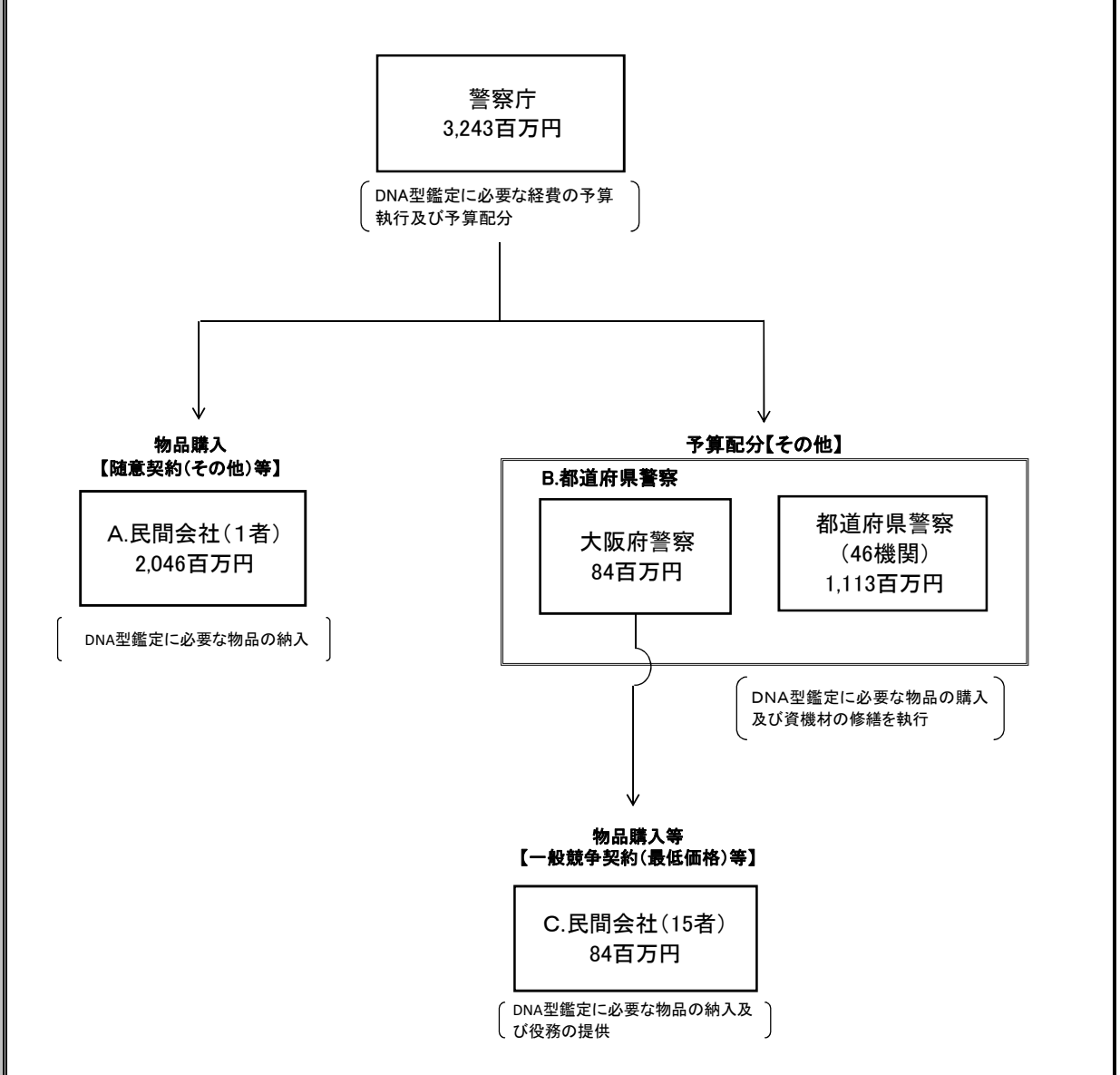
項目		評価	評価に関する説明
国 必 要 投 入 の	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	客観性の高い科学的証拠の収集・確保は広く国民から期待されている。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	法令に基づき国庫支弁としている。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	犯罪の確実な立証を図る上で不可欠なものである。
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	適切な契約方法により、可能な限り、競争性の確保、コスト削減等に配慮している。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	調達方法の改善などコスト削減に配慮している。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	DNA型鑑定に必要なものに限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	一部の検査試薬について、警察庁において一括調達を実施し、コスト削減に取り組んでいる。	
事 業 の 有 効 性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	犯罪の確実な立証を図る上で適切な手段・方法により実施している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	犯罪の立証に活用している。
関 連 事 業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	所管府省名	事業番号	事業名
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	警察庁で執行している経費については、適切な契約方法により競争性を確保し、事業を効率的に実施している。また、都道府県警察に予算配分している経費についても、支出先・使途を把握しており、効率性、有効性に配慮して実施していると認められる。	
	改善の方向性	本事業は、対象事件の発生の多寡等によって所要額が左右されるものであるが、DNA型鑑定の重要性や犯罪情勢を勘案し、適正な予算積算に努めているところであり、今後も引き続き実施する。 契約に際しては、一部の検査試薬について、警察庁において一括調達を実施するなど、効率的な予算執行に努めているところであり、今後も引き続き実施する。	
外部有識者の所見			
点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現 状 通 り	引き続き、適切かつ効率的な事業実施に努めること。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
縮 減	資機材の整備定数の見直しを実施し、整備計画の縮減を図った(縮減額: 1.094百万円)。		
備考			
実施年:平成24年度 シート番号・事業名:50番・DNA型鑑定の実施 公開プロセスの結果:一部改善 取りまとめコメント:現在の都道府県警察ごとの検査試薬の調達について、全国の一定地域ごとにまとめて契約するよう見直すなど、コスト削減方策を検討すべき対応状況:一部の検査試薬について、警察庁において一括調達を実施し、コスト削減に取り組んでいる。			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	当初17-2、補正11-1	平成23年度	65	平成24年度	50	平成25年度	22
平成26年度	23	平成27年度	20	平成28年度	25	平成29年度	26
平成30年度	24						
平成31年度	警察庁 (0027)						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・用途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.株式会社池田理化			B.大阪府警察		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
物品購入	マルチローカスケットほかの購入	2,046	予算配分	DNA型鑑定に要する経費	84
計		2,046	計		84
C.株式会社アズバイオ			D.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
物品購入	MicroAmp Optical 96-Well Reaction Plateほかの購入	71			
計		71	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社池田理化	3010001010696	マルチローカスキットほか の購入	1,080	随意契約 (その他)	-	--	
2	株式会社池田理化	3010001010696	フラグメントアナライザーの 購入	831	随意契約 (その他)	-	--	
3	株式会社池田理化	3010001010696	口腔内細胞採取セットの購 入	118	一般競争契約 (最低価格)	2	--	
4	株式会社池田理化	3010001010696	データ解析コンピュータの 購入	16	随意契約 (その他)	-	--	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	大阪府警察	4000020270008	予算配分	84	その他	-	--	
2	埼玉県警察	1000020110001	予算配分	84	その他	-	--	
3	福岡県警察	6000020400009	予算配分	65	その他	-	--	
4	兵庫県警察	8000020280003	予算配分	60	その他	-	--	
5	愛知県警察	1000020230006	予算配分	54	その他	-	--	
6	千葉県警察	4000020120006	予算配分	53	その他	-	--	
7	神奈川県警察	1000020140007	予算配分	43	その他	-	--	
8	茨城県警察	2000020080004	予算配分	43	その他	-	--	
9	静岡県警察	7000020220001	予算配分	36	その他	-	--	
10	宮城県警察	8000020040002	予算配分	35	その他	-	--	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社アズバイオ	8120001016752	MicroAmp Optical 96-Well Reaction Plateほかの購入	61	一般競争契約 (最低価格)	3	--	
2	株式会社アズバイオ	8120001016752	10% SDS Solutionほかの購入	5	随意契約 (少額)	--	--	
3	株式会社アズバイオ	8120001016752	DNA型濃度調整PCRセット アップの修理	3	随意契約 (少額)	--	--	
4	株式会社アズバイオ	8120001016752	8連PCRチューブほかの購入	2	一般競争契約 (最低価格)	2	--	
5	株式会社池田理化	3010001010696	DNA型鑑定支援装置の保守	7	随意契約 (公募)	--	--	
6	株式会社早川衡器	8120001013361	ベンチコート(リール)ほか の購入	2	一般競争契約 (最低価格)	4	--	
7	株式会社早川衡器	8120001013361	クオインタムTEXほかの購入	0.4	一般競争契約 (最低価格)	4	--	
8	株式会社早川衡器	8120001013361	ベンチコート(リール)ほか の購入	0.1	一般競争契約 (最低価格)	3	--	
9	ダイトク商事	--	トナーカートリッジほかの購入	1	一般競争契約 (最低価格)	3	--	
10	ダイトク商事	--	インクボトルほかの購入	0.1	随意契約 (少額)	--	--	
11	アズサイエンス株式会社	8100001013784	ルミノールほかの購入	1	随意契約 (少額)	--	--	
12	株式会社ユニコム	6030001044236	RSID-Urineほかの購入	0.5	随意契約 (その他)	--	--	
13	株式会社ユニコム	6030001044236	RSID-Salivaほかの購入	0.2	随意契約 (少額)	--	--	
14	株式会社関薬	5120001042421	アフーマジエンほかの購入	0.7	随意契約 (少額)	--	--	
15	アクセスコンピュータ システム株式会社	8120101036056	インクカートリッジほかの購入	0.6	随意契約 (少額)	--	--	
16	ジェイアール西日本 商事株式会社	7120901006754	バーコードリーダーほかの 購入	0.1	随意契約 (少額)	--	--	
17	株式会社三和システム 工業	1120001044132	インクボトルの購入	0.1	随意契約 (少額)	--	--	